

令和2年度の地方創生推進交付金を活用した事業実績

大和市の事務事業名	健康都市やまと総合計画の施策体系		
さがみロボット産業特区 促進支援事業	健康領域	社会の健康	
	基本目標	8	市民の活力があふれるまち
	個別目標	2	まちのにぎわいと地域経済の振興を図る
	めざす成果	1	商店街や企業が活発に活動している

上記の事務事業のうち、令和2年度に交付金を活用した取り組み

交付金事業の名称	実施概要
首都圏南西部ロボットビジネス創成プロジェクト	① 生産性向上セミナー、SIer 育成プログラム（基礎講座）等の実施 ② 産業用ロボット導入のための「自動化コンサルティング」業務の実施 ③ 文化創造拠点シリウスにおける介護等に役立つロボットの展示 ④ 大和市産業用ロボット導入支援補助金の交付
目的	実施結果と効果、課題等（所管課の評価：産業活性課）
産業用ロボットの導入やロボット周辺産業を中心とした新ビジネス創出を支援する。	・産業用ロボットの導入を検討している事業者等を対象として生産性向上セミナーなどを計5回実施し、合計39名が参加しました。 ・市内事業者3社が自動化コンサルティング業務を活用しました。 ・文化創造拠点シリウス4階の健康都市図書館に「介護に役立つロボットコーナー」を設け、5種類のロボットを展示することで、ロボットへの普及啓発を図りました。（令和2年度のシリウス来館者数は、1,344,963人） ・過去に自動化コンサルティングやセミナーを受けた事業者のうち、3社で新たに産業用ロボット等が導入され、企業支援につながりました。 ・大和市産業用ロボット導入支援補助金を1社に交付。市が実施してきた産業用ロボット導入支援事業（セミナー、コンサルティングなど）に平成28年度以降に参加した実績のある事業者で、今後、SIerを目指す市内企業のOJTの場の提供や、セミナーでの講師役などを引き受けてもらうことを交付の条件としました。
事業費 (令和2年度決算額：千円)	
事業費	
18,301	9,150 (補助率 1/2)

KPI等の達成状況（上段：目標値、下段：実績値）

項目		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度
大和市の独自指標	セミナー等参加者	20人	20人	104人	30人	30人
		27人	59人	112人	49人	39人
	産業用ロボット導入支援 (コンサルティング)	5社	3社	2社	3社	3社
		3社	1社	2社	3社	3社
相模原市との連携指標	展示スペースの設置	1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
		1か所	1か所	1か所	1か所	1か所
	労働生産性2倍以上 達成企業	4社	7社	15社	25社	35社
		5社 (うち、大和市0社)	7社 (うち、大和市0社)	21社 (うち、大和市2社)	21社 (うち、大和市2社)	17社 (うち、大和市1社)
産業用ロボット導入 に関する金融機関等 融資額		100,000千円	200,000千円	300,000千円	500,000千円	700,000千円
		130,000千円 (うち、大和市分0千円)	148,000千円 (うち、大和市分0千円)	379,308千円 (うち、大和市分141,308千円)	332,015千円 (うち、大和市分41,800千円)	500,201千円 (うち、大和市分19,250千円)

地方創生推進交付金を活用した事業の総括

「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略の位置づけと事業の総括

「健康都市 やまと」
まち・ひと・しごと創生
総合戦略の施策体系

基本目標Ⅲ 仕事が見つかりやすく、働くことが楽しいまち
(1) 近くで働けるまちにする
③ 創業・企業の支援を行う

事業の総括（所管課の評価：産業活性課）

- ・事業期間を通して、様々な角度から産業用ロボットの導入や生産性向上に向けた支援を実行することができました。具体的には、経営的な観点からロボット導入を検討している経営者、現場でロボット導入に携わる技術者などを対象とした各種講座の開催、個別の事案に対して具体的な診断・提案を行う生産性向上コンサルティングなどの支援を実施しました。
- ・産業用ロボットの導入・活用に向けた人材育成として、生産性向上の意義や留意点だけでなく、現場改善や工場安全といったロボット導入に至る過程で重要となる知識や考え方の習得の促進がなされました。このような事業を通じて、参加企業における自動化に向けた土壌づくりの醸成や、生産性向上の足掛かりを作ることができました。
- ・また、SIer 基礎講座では、ロボットを導入している企業だけでなく、今後の導入を検討している企業からの参加もあり、市内におけるロボット導入・活用に向け、人材育成の機会を創出しました。
- ・さらに、生産性向上コンサルティングでは、企業が抱える課題や悩みを技術コンサルタントが現地訪問して一緒に洗い出し、ロボットを含む生産性向上施策に関する診断・提案を行えたことは、企業における課題解決の後押しにつながりました。
- ・事業期間最終年度となる令和2年度は、前述の各種セミナー等に参加した実績のある市内事業者に産業用ロボット導入補助金を交付しました。これにより、SIer を目指す市内企業にOJTの場を提供することや、ロボットを活用する現場視点のセミナー講師の確保などが可能となり、これまでにない形の支援ができるものと考えています。
- ・中小企業にとって、ロボットの導入・活用に向けたハードルは決して低くありません。本事業を通じて、生産性向上やロボット導入を担う人材の育成を課題としている企業が少なくないことに加え、企業ごとに異なる社内体制等に合わせた支援の重要性を学んだことから、今後も支援を継続していくことで、ロボット導入や活用による生産性向上がより一層加速することを期待しています。
- ・上記を踏まえ、「健康都市 やまと」まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置づける目標達成に寄与することができたと捉えています。

総合計画審議会の評価

総合戦略への有効性	その理由等
<p>A. 総合戦略の目標達成 に有効であった (※書面会議において 過半数)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の影響もあり具体的な指標の向上はそれほど顕著とは言えないが、概ね地域経済の活性化につながっている様子がうかがえるため。 ・ 数値目標は概ね達成しており、有効であったと評価できる。 ・ 設定した目標値に向けて遅々としてだが着実に推移している点を評価したい。 ・ セミナーを毎回開催して産業用ロボットの活用を推進していて効果が現場にも反映されていると考えられる。 ・ ロボットの活用は、新型コロナ蔓延下では、とくに意義があるとも考えられ、これからの更なる利活用も期待できる。 ・ 事業の総括により、目標達成に寄与していると判断できる。 ・ コロナ禍であっても事業実績は着実に向上しており、個々の内容も十分に評価できる。これからの高齢化社会（介護ニーズの増加、働き世代の減少化など）を考慮すると、産業用ロボットのニーズは今後益々高まるものと思われるので、今後とも参加事業者、並びに展示スペースの増加を目指して同事業の普及に努めてもらいたいと思う。 ・ コロナ禍にかかわらず、セミナー等参加者は実績値が目標値を上回っており、産業ロボット導入支援も展示スペース設置も目標値通りの実績値となっている。望むらくは相模原市との連携指標のより一層の改善が求められる。 ・ 将来的には産業用ロボットの導入は必至だ。生産性の向上や現場改善、工場安全などのメリットは大きい。それに対する中小企業のみならず参加企業に対する支援や人材育成などの土壌作りの醸成には多大な貢献をしており高く評価する。市の業務は多岐に渡っているが「健康都市やまと」へ今後益々の支援を期待する。 ・ 実績については広く市民に公開していくべきと考える。 ・ 大和市の独自指標だけを見ると R2 年度は目標値を達成しているように見える。しかし、産業用ロボット導入の目的は対象企業においては生産性向上のほうである。相模原市との連携指標の労働生産性2倍以上達成企業がR 2年度大和市は1社です。R 1年度にセミナー参加、コンサルティングを受けた3社がロボット導入前後の生産性比較ができる企業と仮定すると効果不十分と思う。